

60分で講師と本ケースでロールプレをして、指導を受ける オンライン 1級面接対策

日程 カリキュラム (60分) 20:30から 21:30

(税込み価格) 19,800円

今年度のケースはどのケースも次回の面談をキャンセルされています。事例相談者はそれでもケースを作ってSVを受けに来ています。

- ① 事例相談者の気持ちを理解し、ロールプレにおいて関係構築を強化します（関係構築力と問題把握力）。
- ② 事例相談者が気付いていない面談上のスキルを見立て、気づいてもらうための方向性をアドバイスします（関係構築力と問題把握力）。
- ③ 考えられる目標を明確にすることで、試験会場で迷いが少なくなります（問題把握力）。
- ④ 目標をいくつか用意しておくことで、その場でできる数分程度の方策（レッスン）を用意しておくことができます（問題把握力と具体的展開力）。
- ⑤ **本試験までに補填しておく項目と具体的な方法をアドバイスします。講師が事例相談者役を演じます。**

	日程	講義ロールプレのケース	オンライン ロールプレと口頭式問と講師フィードバック 60分
①	2月5日 (月)	ケース1のロールプレ	支障的に関わった事例相談者による、本人が気付いていない面談技術上の問題を理解したうえでロールプレを行います。まずシステムティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行ったレッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。
		Aさん：派遣からやっと正社員になった今の会社で、係長職就任の打診を受けた。 事例相談者の相談したいこと、事例相談者が気付いていない、面談技術上のクセや課題を検討します。相談者の話を傾聴するのがCCの役割と理解し、相談者の本質的問題に焦点を当てない事例相談者への対応を強化します	
②	2月9日 (金)	ケース2のロールプレ	経済の安定を提案している事例相談者による、本人が気付いていない面談技術上の問題を理解したうえでロールプレを行います。まずシステムティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行ったレッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。
		Bさん：在宅勤務を活用して子育てとの両立を図る計画だったが、会社の方針で今年度いっぱい在宅勤務は利用できなくなる。 事例相談者の相談したいこと、事例相談者が気付いていない、面談技術上のクセや課題を検討します。相談者の問題解決のためにアドバイスすることがCCの役割であると理解している事例相談者への対応を強化します。	
③	2月10日 (土)	何番のケースか分からない試験本番さながらのロールプレ	最初からどのケースか分かってのロールプレと、どのケースか分からないケースでの練習
		ケース1・2・3	
④	2月16日 (金)	ケース3	気持ちを受け止め対策もした、事例相談者による、本人が気付いていない面談技術上の問題を理解したうえでロールプレを行います。まずシステムティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行ったレッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。
		Cさん：大学はオンライン授業が中心で、サークルにも入っていないので、PRできることが少なく、早く内定をもらいたい。 事例相談者の相談したいこと、事例相談者が気付いていない、面談技術上のクセや課題を検討します。相談者の話す内容に全て応えるのがCCの役割だと理解している事例相談者への対応を強化します。	